

ケーブル モデム終端システム認証バイパス

severity アドバイザリーID : cisco-sa-[CVE-20020617-cmts-md5-bypass](#)
初公開日 : 2002-06-17 19:00 [2002-1706](#)
バージョン 1.1 : Final
回避策 : [Yes](#)
Cisco バグ ID :

日本語による情報は、英語による原文の非公式な翻訳であり、英語原文との間で内容の齟齬がある場合には、英語原文が優先します。

概要

このセキュリティ アドバイザリーでは、次の 2 つの問題について説明します。

まず 1 つは、ケーブル モデムのサービス プロバイダーのネットワークに接続されていないインターフェイスからコンフィギュレーション ファイルをダウンロードできる非シスコ製ケーブル モデムに関連した問題です。従来の動作により、不正な設定がケーブル モデムにダウンロードされます。シスコは、独自のソフトウェアでこの脆弱性を緩和する機能を提供しています。この機能については、CSCdx57688 を参照してください。

第 2 問題は Cisco uBR7200 シリーズだけおよび uBR7100 シリーズ自在継手ブロードバンドルータの Cisco IOS® ソフトウェアの脆弱性にかかわります。CSCdx72740 に文書化されている障害により、不完全で無効なコンフィギュレーション ファイルが作成されます。また、該当するルータでは、このファイルが誤って有効として受け入れられます。

いずれの脆弱性も不正利用され、ケーブル モデムを再設定して帯域幅制限を削除することにより、サービスが盗まれています。シスコは、この問題に対処するために、無料のソフトウェア アップグレードを提供しています。この文書のほとんどの現在の公式コピーは

<http://tools.cisco.com/security/center/content/CiscoSecurityAdvisory/cisco-sa-20020617-cmts-md5-bypass> で利用できます。

該当製品

修正済みソフトウェア

Cisco uBR7200 シリーズおよび uBR7100 シリーズのユニバーサル ブロードバンド ルータだけが該当します。

次に説明する問題の一部は他社製品でも見られますが、シスコは、この脆弱性を緩和するための修正を提供しています。

脆弱性を含んでいないことが確認された製品

Cisco uBR10000 シリーズ ユニバーサル ブロードバンド ルータは影響を受けていません。

他のシスコ製品においてこのアドバイザリの影響を受けるものは、現在確認されていません。

改訂履歴

リビジョン 1.1	2002-June-19	「回避策」の項のアップデート
リビジョン 1.0	2002-June-17	初版リリース

利用規約

本アドバイザリは無保証のものとしてご提供しており、いかなる種類の保証も示唆するものではありません。本アドバイザリの情報およびリンクの使用に関する責任の一切はそれらの使用者にあるものとします。また、シスコは本ドキュメントの内容を予告なしに変更したり、更新したりする権利を有します。

本アドバイザリの記述内容に関して情報配信の URL を省略し、単独の転載や意識を施した場合、当社が管理した情報とは見なされません。そうした情報は、事実誤認を引き起こしたり、重要な情報が欠落していたりする可能性があります。このドキュメントの情報は、シスコ製品のエンドユーザを対象としています。